



おかげ様で創立50周年を迎えました



AFC REPORT

2021年3月期 第2四半期
2020.4.01 ▶ 2020.9.30

 空港施設株式会社

証券コード:8864

厳しい事業環境の中、 着実に歩みを進めさらなる発展を目指します。



代表取締役社長

阿井 正彰

私たちの使命

空港を拠点とする活力ある民間企業として、空港に必要な施設と機能を創造し提供する役割を担い、航空の発展に貢献します。

当社は、おかげさまで創立50周年を迎えることができました。これもひとえに株主様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援とご厚情の賜物と心より感謝申し上げます。

業績・配当

2021年3月期第2四半期の業績につきましては、コロナの影響による給排水売上の減少、航空関係顧客等に対する債権の一部放棄などの影響があったものの、前年度に竣工した新規物件稼働の効果があり、概ね本年5月に発表した連結業績予想通りとなっております。そのうえで中間配当につきましては、当社方針である継続した株主還元を実行するため、予定通り7円の配当とさせていただきます。

コロナの動向次第で通期の業績は変動する可能性があるものの、現時点で年間配当は1株あたり14円とさせていただきます。

投資案件の進捗状況

現在取り組んでおります、関東学院大学国際学生寮の建設につきましては、来年3月に竣工予定です。本施設は地域の方も利用できる商業施設やクリニックを内包した総

合的な施設となる予定です。また当社が出資をし参画しているHANEDA INNOVATION CITYは、「先端」と「文化」の2つをコア産業とした大型複合施設として本年9月より本格稼働いたしました。当社は本施設の駐車場事業や賃貸オフィスのサブリース事業等に取り組んでおります。

海外事業につきましては、本年4月にシンガポール事務所を開設し、駐在員を常駐させ、同地を拠点に新たな事業展開を進めてまいります。

サステナビリティへの取り組みでは、東京国際空港国内貨物ターミナル施設において同空港最大級の太陽光発電設備やLED照明を設置いたします。なお設置費用の一部に充当するため、グリーンボンド(私募債)を発行いたします。

当社は今後も事業活動を通じて持続可能な社会に貢献してまいります。

コロナの影響により厳しい事業環境ではありますが、役員一同努力を続け、さらなる発展を目指してまいりますので、株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当誌に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、当誌編集時点で当社が入手していた情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2021年3月期第2四半期 業績ハイライト

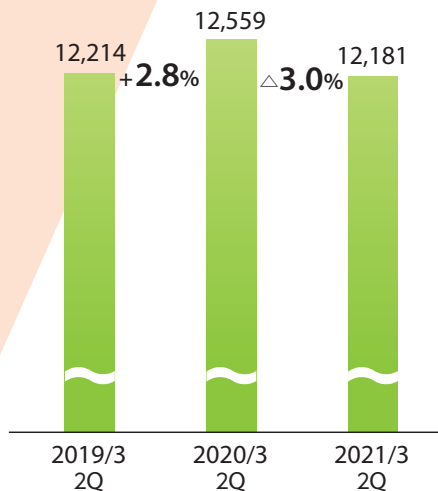
ポイント

- 1 前期に取得した新規物件の稼働による売上の増加があったものの、空港利用者減少により給排水の利用に影響が生じたため、全体の売上は若干減少しました。
- 2 新型コロナウイルスの影響への対応として、航空関係顧客等に対する賃料や熱料金債権の放棄を特別損失として計上いたしました。
- 3 連結業績は本年5月に発表した予想通り推移しており、予定通り1株当たり7円の間配当を実施いたします。

売上高

121 億円

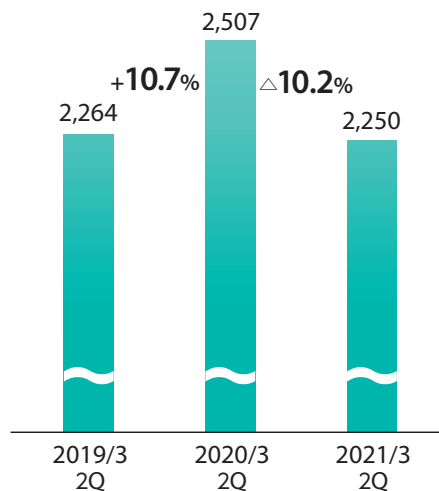
売上高
(百万円)



営業利益 22 億円

営業利益率 18.5%
(営業利益 ÷ 売上高)

営業利益
(百万円)

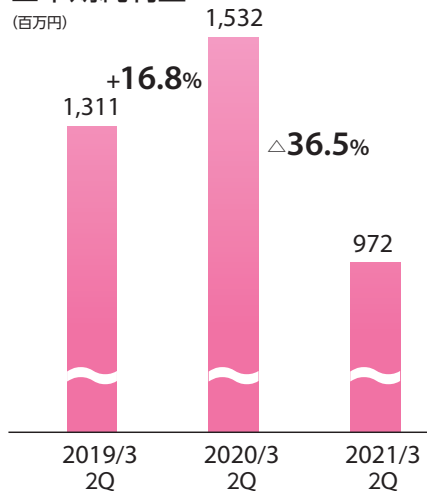


四半期純利益※ 9 億円

純利益率 8.0%
(純利益 ÷ 売上高)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する
四半期純利益
(百万円)



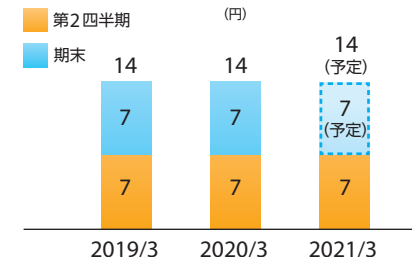
配当政策

- 1 安定的かつ持続的な株主還元を目指してまいります。
- 2 2021年3月期の年間配当は14円を予定しております。

第2四半期配当

7 円

1株当たり配当



通期業績・配当見通し*

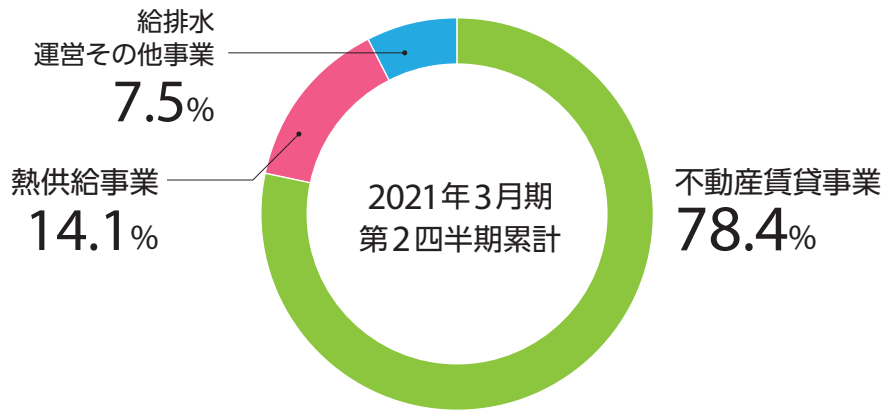
売上高	25,690 百万円	前期比3.3%増
営業利益	3,960 百万円	前期比5.3%減
当期純利益	1,310 百万円	前期比41.1%減
年間配当金(予想)	14 円	第2四半期末7円、 期末7円

※期初予想数値より変更はありません。

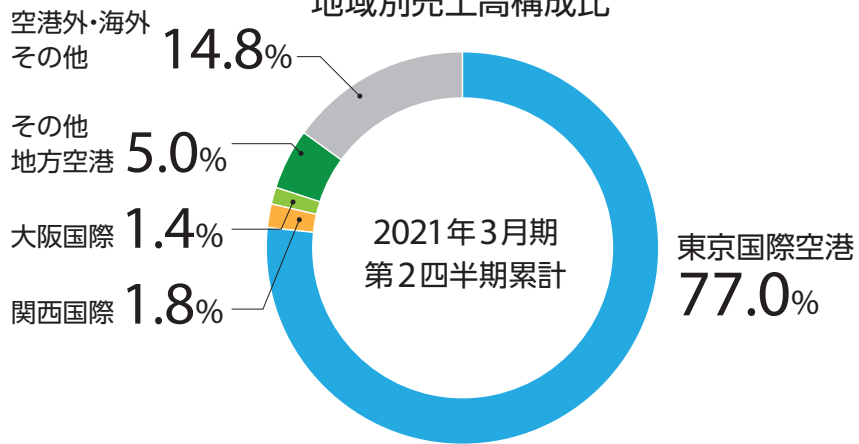
当第2四半期の事業概況

当社ならではの事業ポートフォリオとして、空港及び空港周辺を中心とする不動産賃貸事業、空港インフラを支える熱供給事業、給排水運営その他事業を展開しています。

部門別売上高構成比

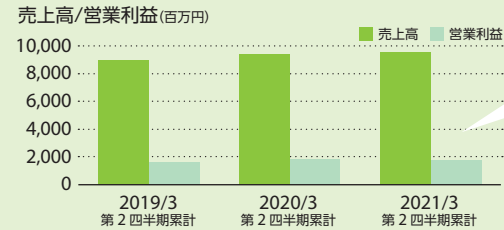


地域別売上高構成比



不動産賃貸事業

売上高 **95** 億円 (前年同期比 1.5% 増)
 2021年3月期 第2四半期累計



東京国際空港のテクニカルセンター倉庫棟やアークビル機内食工場、神戸空港の格納庫増築棟が稼働した一方、新規物件の減価償却費や既存施設の修繕費の増加等により、増収減益となりました。



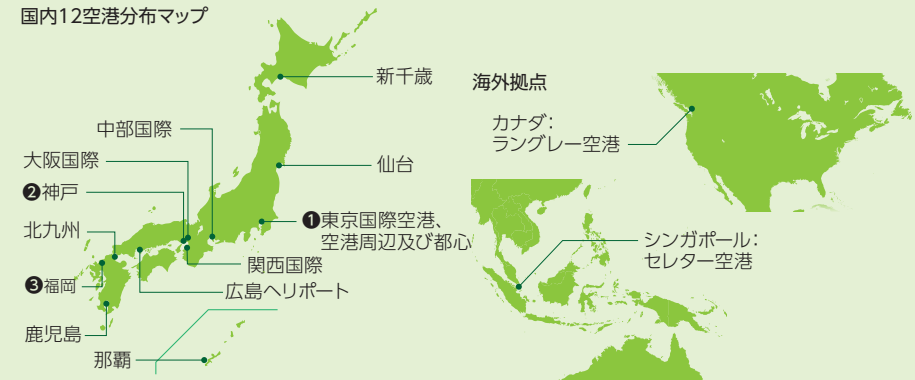
●主要事業

国内外の空港、空港沿線等における多目的総合ビル、格納庫、整備工場、共同住宅、ホテル等の不動産賃貸

●主な投資

- ① テクニカルセンター倉庫棟/アークビル機内食工場/航空機污水处理施設/HANEDA INNOVATION CITY/関東学院大学国際学生寮
- ② 神戸空港格納庫増築
- ③ 奈多ヘリポート格納庫

国内12空港分布マップ

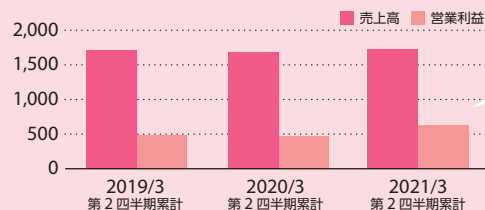




熱供給事業

売上高 **17** 億円 (前年同期比 2.3%増)
2021年3月期
第2四半期累計

売上高/営業利益(百万円)



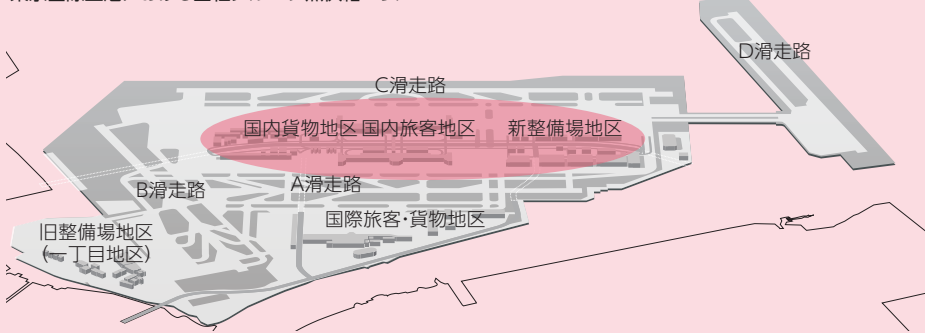
新型コロナウイルスの影響等による需要減があったものの、東京国際空港の第2ターミナルビル増築部への供給増に加え、燃料費や修繕費が減少したことにより、増収増益となりました。



- **主要事業**
東京国際空港における冷房・暖房等の供給(地域冷暖房事業)
- **主な投資**
ボイラー更新工事



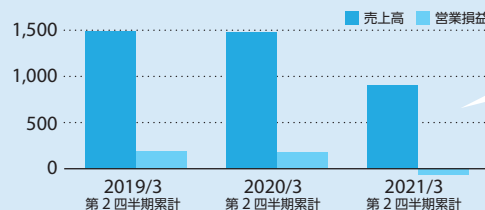
東京国際空港における当社グループ熱供給エリア



給排水運営 その他事業

売上高 **9** 億円 (前年同期比 38.2%減)
2021年3月期
第2四半期累計

売上高/営業損益(百万円)



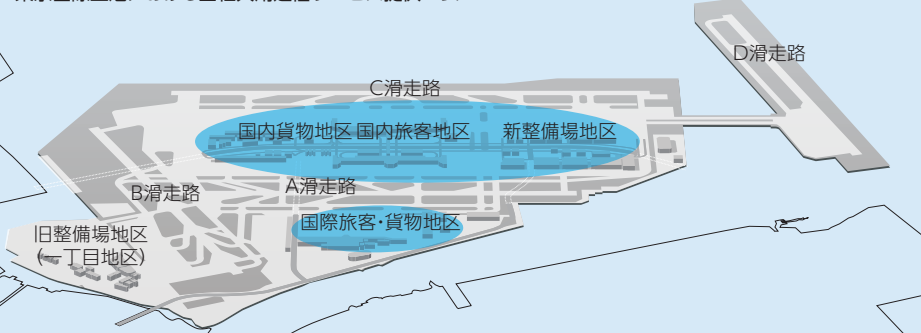
新型コロナウイルスの影響による空港利用者数の急減に伴い、給排水使用量の大幅な減少が続く、減収、営業損失となりました。



- **主要事業**
東京国際空港及び新千歳空港における給排水運営事業、共用通信事業、太陽光発電事業
- **主な投資**
共用通信ケーブル敷設工事



東京国際空港における当社共用通信サービス提供エリア





関東学院大学 国際学生寮新築工事の進捗



外観イメージ



施工中外観(2020年11月現在)

神奈川県横浜市金沢区に関東学院大学様向け国際学生寮を建設し、2021年3月の竣工及び同大学への賃貸に向けて、工事を予定通り進めております。

上層階は学生寮、下層階は地域住民も利用可能なクリニックやドラッグストア等が入居する商業施設等となる予定です。

所在地	神奈川県横浜市金沢区六浦1丁目14
用途	寄宿舎・商業施設等
延床面積	9,582㎡ (2,899坪)
構造・規模	鉄骨造・地上6階建

東京国際空港最大級となる太陽光発電の導入



太陽光パネル



LED照明設備

持続可能な社会への貢献に取り組む当社は、環境に貢献できる設備への投資を継続的に実施しております。

2020年度は東京国際空港国内貨物ターミナル地区において、広大な屋根を活用して太陽光パネルを敷設いたします。当設備で発電されるエネルギーは、地区内の電力消費の一部を賄う予定です。なお、本投資に係る費用の一部はグリーンボンドを発行し調達します。

また貨物上屋においては、照明設備をLED器具に更新します。こうした取り組みを通じて省エネルギー化を図り、CO₂排出量の削減に努めております。



『HANEDA INNOVATION CITY (略称: HICity)』(羽田空港跡地第1ゾーン第一期事業) 本格稼働



カメラ式ゲート機



駐車場



急速充電式スタンド

先進的な駐車場事業への取り組み

HICityは、「先端」と「文化」の2つをコア産業とした大型複合施設として本年7月に開業しました。

当社は、駐車場事業を行っております。ここでは最新の車載ナンバー管理システムとカメラ式ゲートを組み合わせることによって、出入口で停止することなく、スムーズな入出庫が可能となるチケットレスサービスを導入いたしました。

また、電気自動車用の急速充電式スタンドや、ハイブリット型街路灯も導入しております。

「羽田みらいサイエンスギャラリー」常設展示へ協賛

本年9月、HICity内に「羽田みらいサイエンスギャラリー」を開設しました。未来を担う子どもたちへ科学の面白さや可能性を示し、豊かな想像力を育てていくことを目指しております。

現在、当社と鹿島建設株式会社が協賛し、理化学研究所(理研)が監修した「ハローマイワールド わたしたちは細胞でできている展」が常設展示されています。

本展示では児童でも直感的に操作できる映像体験装置を中心に、実際の研究成果に基づいて再現された細胞の世界を楽しむことができます。

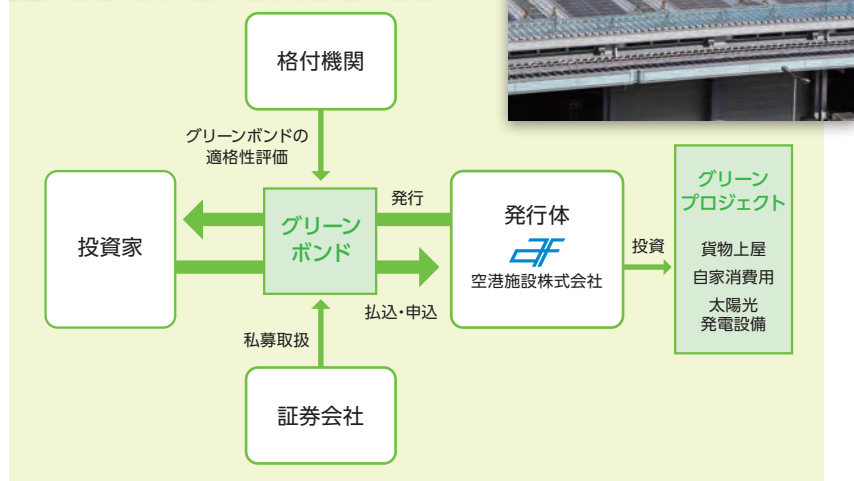
当社はこうした教育に対する取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



ESGへの取り組み

東京国際空港及び空港周辺における取り組み

Environment



当社初のグリーンボンドへの取り組み

グリーンボンドとは、環境改善を目的とする事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本件により調達した資金は、当社が東京国際空港でグリーンプロジェクトとして手掛ける太陽光発電事業に充当いたします。当社として初めてとなるグリーンボンドの発行をはじめとして、今後も、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Social



東京防災救急協会理事長表彰について

当社は、東京国際空港周辺地域で近隣会社を含め消防訓練を実施するなど、多年にわたり防火思想の普及と防災行動力の向上などに努めたとして、公益財団法人東京防災救急協会理事長より表彰されました。蒲田防火管理協会会長でもある当社・乗田副社長が会社を代表し、蒲田消防署長より表彰状が授与されました。

▶ ホームページを6年ぶりに大幅リニューアルします!



■ リニューアルのポイント

① ユーザビリティの向上

より直感的に、見たい情報へアクセスすることが可能となりました。スマートフォン表示の最適化にも対応しております。

② 掲載情報の充実

物件情報や事業情報などの情報を大幅に追加いたしました。当社の事業をわかりやすくお伝えしていきます。

③ 新規機能の追加

メール配信サービスや緊急配信等の機能を導入することで、皆様への情報発信能力を強化してまいります。



◀ <http://www.afc.jp/>

近日公開予定

さらに、50周年記念動画を期間限定コンテンツとして配信する予定ですので、是非ホームページをご覧ください。

※画面イメージはいずれも現時点のものであり、完成に向けて若干の変更等が生じる可能性があります。

役員紹介

取締役



会長職兼職
コンプライアンス
委員会委員長
リスクマネジメント
委員会委員長

代表取締役
社長
甲斐 正彰



社長特命事項担当
災害対策委員会
委員長
改善推進委員会
委員長

代表取締役
副社長
乗田 俊明



社長特命事項担当
安全推進委員会
委員長
環境対策委員会
委員長

代表取締役
副社長
稲田 健也



社長特命事項担当
危機管理担当
貨物ターミナル
事業部及び総務部
50年事業準備室担当
一級建築士事務所担当
東京空港冷暖房(株)及び
アクアテックノサービス(株)
担当

専務取締役
永芳 利幸



営業部担当
大阪事業所及び
千歳事業所担当
AFC商事(株)、
(株)ブルーコーナー
及び(株)エスキューブ
担当

常務取締役
小松 啓介



事業企画部担当
工事等審査委員会
委員長

常務取締役
岡田 光彦



施設部及び
施設管理
センター担当

常務取締役
田村 滋朗



経理部、財務部及び
経営企画部担当
新情報システム
検討委員会委員長

取締役
大澤 寛樹



総務部及び監査室
担当(50年事業準備
室に係る業務を除く)
内部統制担当

取締役
山口 勝弘



社外取締役
西尾 忠男



社外取締役
芝田 浩二



社外取締役
(独立役員)
杉山 武彦



社外取締役
(独立役員)
青山 佳世

監査役



常勤監査役
村石 和彦



常勤監査役
星 弘行



社外監査役
(独立役員)
芝 昭彦



社外監査役
(独立役員)
岩村 敬

執行役員

貨物ターミナル 事業部長	アクアテックサービス(株) 代表取締役社長	経理部長	総務部長(兼) 監査室長	事業企画部長(兼) 営業部担当部長 (事業開発課担当)
上席執行役員 高田 征彦	上席執行役員 安田 隆一	執行役員 濱 隆裕	執行役員 安田 貴	執行役員 市瀬 敦夫
経営企画部長	営業部長	大阪事業所長	財務部長(兼)経営企画部 (兼)事業企画部担当部長	
執行役員 小玉 滋之	執行役員 小宮 徹	執行役員 平野 英明	執行役員 久間 敬介	

■ 会社概要 (2020年9月30日現在)

商号 空港施設株式会社(略称AFC)
AIRPORT FACILITIES CO., LTD.

設立年月 1970年2月

資本金 68億2,610万円

役員員数 148名(連結)
204名(連結+非連結)

主要取引銀行 日本政策投資銀行
りそな銀行
みずほ銀行
三菱UFJ銀行
三井住友信託銀行
三井住友銀行

■ 株式の状況 (2020年9月30日現在)

上場取引所 東京証券取引所市場
第1部(証券コード8864)

発行可能株式総数 124,800,000株

発行済株式の総数 52,979,350株

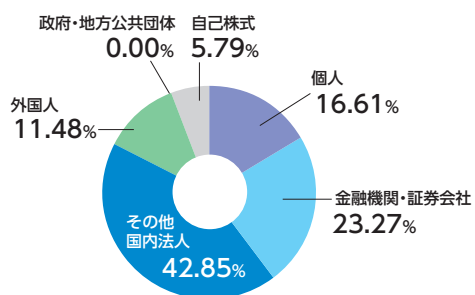
株主数 8,112名

単元株式数 100株

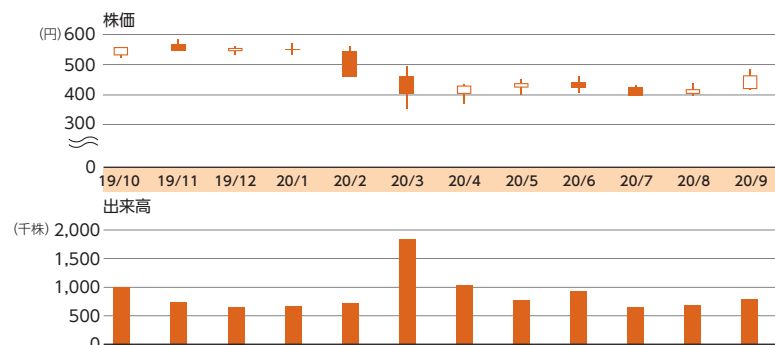
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	10,521	19.86
ANAホールディングス株式会社	10,521	19.85
株式会社日本政策投資銀行	6,920	13.06
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,605	3.03
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,467	2.76

所有者別分布状況



株価及び出来高(月足)



■ 株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日、中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会 社の全国各支店で行っております。

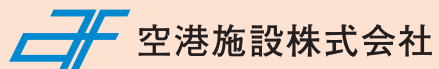
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 配当金のお受取りについて
従来の銀行預金口座への振込みまたは株式数比例配分方式に加え、ゆうちょ銀行口座への振込みも可能となっています。ご利用いただく場合は、お取引の証券会社等にお申出ください。

■ 株主の皆様へ

当社施設見学会 実施時期変更のお知らせ

例年4月に実施しております、株主の皆様を対象とした東京国際空港内の当社施設見学会につきまして、昨今の新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たない状況下、十分な見学態勢を整えることが難しく、株主の皆様の健康や安全を最優先に考えました結果、2021年の開催時期に関しては改めてご案内させていただくことといたしました。

現時点では2021年秋頃を目途に施設見学会の開催を予定しており、2021年6月発行予定の次回AFCLレポートにて改めて掲載させていただきたく考えております。株主の皆様におかれましては、今回の変更につきまして、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。



本社
〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第五綜合ビル
TEL:03-3747-0251 (代表)
<http://www.afc.jp/>